



病院ニュース さわらび

平成 27 年 10 月 29 日号

病院ふれあいまつりが開催されました!!

業務課 課長補佐 長者久保 朋子

平成 27 年 10 月 18 日(日) 第 3 回病院ふれあいまつりを開催しました。官庁街の紅葉も色づきはじめてこの日は晴天にも恵まれ、院内は子ども連れのご家族や高齢者など約 800 人の市民で賑わいました。

院長の開会宣言に続き、ステージイベントでは絵画展の表彰や盲導犬デモンストレーション、手品などが行われ、それぞれまつりの雰囲気を盛り上げていました。午後には、市民公開講座第 1 部として「じゅんちゃん一座」の寸劇が行われ、笑いを交えた演技を通して、認知症についての理解を深めていました。



開会宣言



絵画展の表彰：
松野管理者と小又看護局長



『ISAMI』マジックショーと
『Bad Ass inc.』ステージ



頸動脈エコー体験をする小山田市長
と担当する善積医局長



東北大学大学院医学系研究科
放射線腫瘍学分野教授 神宮啓一先生講演
「放射線ががんは治るのか？」



じゅんちゃん一座寸劇
「笑って！学んで！認知症を理解しよう」



盲導犬とのふれあいコーナー

医療体験コーナーでは、普段体験できないような骨密度測定や頸動脈エコーなど、健康相談コーナーでは、普段の生活に密接に関連する血圧測定や体脂肪率の測定など来場者で混雑し、開会と同時に各ブースには長い列ができ、体験を終えたかたが次々とスタンプラリーのカードを片手に景品と交換していました。最後には、ほとんどの景品がなくなり、いつもの年より好評だったようです。

まつりの最後を飾る市民公開講座第 2 部は、東北大学大学院医学系研究科教授の神宮啓一先生を迎え「放射線ががんは治るのか？」について講演していただきました。当院にある北東北唯一の高精度放射線治療装置「トモセラピー」を使ったがん治療の有効性など分かりやすい内容で市民やスタッフが聴講しました。市民の皆さまにより親しみを感じていただけるようにと開催されている病院ふれあいまつりも毎年パワーアップしています。ひとりひとりのスタッフが準備や後片付けに奔走し、あっという間に終えているのを見ると、つくづくチームワークのよさに感心してしまいました。今後も一丸となり、中央病院を盛り立てていきましょう。



院内『チーム医療』の紹介 (part)

「緩和ケアチーム」緩和ケア認定看護師 八重樫 学

緩和ケアチームは、2005年より活動を開始し、今年10周年を迎えました。

当院では、どこにいても基本的緩和ケアが受けられ、困難なときにはチームの専門スタッフが、多職種で患者・家族のつらさを和らげるように支援を行っています。

年間依頼件数は200件以上、緩和ケア認定看護師への相談は3500件以上、在宅緩和ケア看取りも約100件あります。他にも、リンパ浮腫ケアや全入院患者への緩和ケア啓発チラシの配布、がん看護相談外来、アロマを利用した活動も行っています。



リレーフォーライフジャパン八戸に参加して

昨年の看護師向けに行ったアンケートの中で、『緩和ケア介入の時期』について約7割のスタッフが「告知の時から」と答えています。これは終末期だけでなく「がんと診断された時からの緩和ケアの推進」に向けての取り組みが当院で広がってきている事を示していると思われる。

その一方で「苦痛や不安をどこに相談して良いのか分からない」という患者・家族の声が聞かれる事もあるため、認知度の向上をめざし、啓発に力を入れていきたいと思ひます。

「褥瘡対策チーム」皮膚・排泄ケア認定看護師 木村 英子

褥瘡対策チームは、「褥瘡外来」においても褥瘡の早期治療から再発予防を目的として活動しています。「褥瘡外来」では、皮膚科医師、皮膚・排泄ケア認定看護師、薬剤師が専門的な知識と技術を用いて対応しており、必要に応じて栄養士による栄養相談や、理学療法士による姿勢のアドバイスも行っています。さらに、生活する上で必要な装具や車椅子などの福祉用具の調整や相談にも対応しています。褥瘡は日常生活から起こってくる病気です。褥瘡対策チームでは、褥瘡のある患者様やご家族の生活に合わせた褥瘡ケアの支援を行っています。褥瘡はいったんできてしまうと治りがたい病気です。「褥瘡かな?」と思ったら、早めにご相談することをおすすめします。

「口腔ケア・嚥下リハビリチーム」 看護師長 嶋川久美子



舌を鍛える運動。

口腔ケア・嚥下チームは多職種で構成されており、入院患者様への口腔ケアに関しては歯科衛生士と看護師が、嚥下に関しては言語聴覚士が病棟スタッフにアドバイスをしています。毎月第3木曜日にはカンファレンスを開催し、症例報告や口腔嚥下についての勉強会、チーム活動についての意見交換などを行っています。また、栄養サポートチームと共に症例検討もしています。上十三歯科医師会の先生方のご協力のもと、毎週金曜日に入院患者様の歯科ラウンドも行っています。



フィッシュ活動の紹介 (第6回)

5階西病棟 看護師長 附田 明子



5階西病棟は整形外科病棟です。他のセクションと同様、月別の担当者がその季節に合わせて工夫を凝らした飾りつけをして、患者様はもちろんスタッフも癒されております。癒しのコーナーの他にも、PCの待ち受け画面を季節ごとに変えたり、マウスもちょっぴり可愛いものにしてみました。これで、「あ～、委員会の議事録を書かなきゃ・・・。」という沈んだ気持ちも楽になるはず！

それから、休憩室の画鋸やマグネット。事務的な物じゃあ味気ないですね。なので、花柄の画鋸やキティちゃんなどの可愛いマグネットを使って、「こんなに研修の案内が来てるぅ・・・。」という気持ちを吹き飛ばすようにしています。

フィッシュ哲学の導入が成功した施設は、患者満足度がアップしたという研究報告もあります。やはり、スタッフが明るく楽しく働かなければ良い看護を提供できません。しかし、最近の当病棟は、多忙でスタッフがちょっぴり疲れ気味・・・。業務改善はもちろんですが、フィッシュ哲学で少しでもスタッフの気持ちを明るくして、患者様へ最高の看護を提供できるようにしていきたいと思います。あ、師長コーナーもささやかながら季節の飾りをしていますので、通りがかりに覗いてみてくださいね。



お知らせ



今月のアート

11月の勉強会・研修会のお知らせ

感染対策研修会のご案内

- ・テーマ「薬剤耐性菌の基礎」
- ・日時:11月4日(水)17:30～18:15

N S T勉強会のご案内

- ・テーマ「リハ栄養とサルコペニア」
- ・日時:11月12日(木)17:15～

褥瘡対策チーム研修会のご案内

- ・テーマ「褥瘡ケアにおけるポジショニング
～姿勢の捉え方～」
- ・日時:11月16日17:30～18:30

場所は全て、十和田市立中央病院 別館2階講堂です。関係各位の方で詳しくご覧になりたい方は、当院HPのトップページにある「[病院からのお知らせ](#)」をご覧ください。



「秋の山ゆり」
画・畑中 光昭